

大場彌平 （昭和） 軍事評論・戦史研究家。明治十七年宮城県生れ、昭和四十一年没（二八四一―九六六）。陸軍士官學校を經て、大正二年陸軍大學校卒。陸士教官、第十二・第三師團參謀、陸軍航空本部課長、所澤・明野各陸軍飛行學校教育部長歴任。昭和六年退役、在郷陸軍少將。爾來軍事、古兵法等の研究、著述に從事。

著書 『名将兵談』（昭和十二年八月八日實業之日本社）、『北支の歴史』（昭和十六年十月二十五日私家版）、『北支那懐古の草』（編、一山東篇）昭和十六年十一月五日、一河南・安徽・江蘇篇）十五日私家版）、『われらの新兵器』（昭和十七年五月二十八日大日本雄辯會講談社）、『第一次大戦前史』（昭和十九年八月十八日弘學社、株式會社弘學社創設事務所）、『城と合戦―城攻め・その戦略戦術』（昭和四十五年七月十五日新人物往來社）等。

